

府省名	法務省	部署名	かたの 交野女子学院
-----	-----	-----	---------------

取組のポイント

7月及び10月を「働き方改革強化月間」とし、様々な工夫を凝らした取組を実施。残業時間を分かりやすく示す「記録式残業時間ダイエツシート」による超過勤務縮減や、自ら目指す働き方を「私の働き方宣言」としての提出を行うほか、地域にちなんだキャッチコピーやオリジナルポスターの作成などが好評。全ての職員を対象に実施した結果、働き方に対するお互いの考えの受入れ・一体感の向上にもつながった。

取組概要

【取組の背景】

当院は女性職員が大半を占め、子育て中の職員も多く、働き方に時間制約を伴う職員が一定数いることから、制約を伴わない職員の業務量が比較的多くなり、制約の伴う職員が心苦しさを感ずる、また、制約のない職員が負担感を持つ、といったケースも少なくない。そこで、時間制約の有無に関わらず、組織的にワークライフバランス(WLB)推進の意識を高めるため、自身の働き方の見直しや残業時間の縮減等に取り組んだ。

【取組の内容】

7月期を「第1回交野 Milky Way 働き方改革サマーフェスタ」、また、10月期を「第2回交野 Milky Way 働き方改革 秋の陣」と題し、以下の取組を行った。

- ・ストーリー性のあるポスターを制作・掲示し、組織的に時間管理の意識を醸成。
- ・7月期に全職員が記録式残業時間ダイエツシート(レッドライン時間を超えると赤色で表示)を用い、超過勤務の業務量を記録しながら、自ら意識して残業時間を縮減。残業時間が多い職員に働き方について助言等を行うほか、負担軽減を図った。10月期はモニターを選定し、記録式残業時間ダイエツシート(Ver.2)を用い、7月期と比較し、業務改善につなげた。
- ・10月期は「私の働き方宣言」と題し、全職員が自分が目指したい働き方キャッチコピーを作成し、自分自身及び同僚に宣言。働き方に対する十人十色の多様な考えを受け入れ、WLBを推進できるよう冊子として編集し回覧。

【取組の成果】

ダイエツシートの活用により時間管理の意識が生まれた、また、「私たちの働き方宣言」により働き方に対するお互いの考えを受け入れ、ONE TEAMとなって頑張ろうという一体感が高まったとの意見があった。



【交野女子学院WLB推進委員】

記録式残業時間ダイエツシート

日	曜日	勤務開始時間	勤務終了時間	残業時間	残業超過時間	残業超過率	残業超過率(%)
1	月	21:00	22:30	21:40	0:40	0:40	0.40
2	火	17:00	17:30	17:30	0:00	0:00	0.00
3	水				0:00		
4	木	9:00	11:30	12:30	2:00	1:00	1.00
5	金				0:00		
6	土	10:00	12:00	2:00	2:00	2:00	2.00
7	日				0:00		
8	月				0:00		
9	火	12:00	14:00	13:30	1:30	1:30	1.30
10	水	12:00	14:30	13:30	2:00	1:00	1.00
11	木	12:00	17:00	17:00	0:00		
12	金	16:30	17:30	17:30	0:00	0:00	0.00
13	土				0:00		
14	日				0:00		
15	月				0:00		

【記録式残業時間ダイエツシート】

講評

全ての職員が働き方宣言を実現し冊子に取りまとめる等、全員参加型で取り組んでいる点が評価できる。宣言内容を一人一人が実行していくことで、限りある時間の中で効率的に働く人材の育成に期待。7月と10月を比較することで仕事の進め方への気付きが生まれ、職場メンバー間で助言をしあうことで職場全体の文化として時間を有限とした働き方が定着している。